

## 大垣市の産業 振興に22万円

大垣西濃信金が寄付

大垣西濃信用金庫は、職員の業務改善提案の件数に応じて積み立てた寄付金22万9千円を、大垣市に産業

振興に役立ててもらおうと寄せた。

同金庫は職員による業務改善提案制度を15年ほど前から続けており、活動を地域貢献につなげようと2017年度から提案1件につき寄付金200円を積み立てることにした。昨年度は1145件の提案が寄せられ、寄付額が決定した。

贈呈式は16日に市役所であり、杉原卓二常務理事が「働いている職員が主役の



寄付。お客さまのコンサルティングに充てる時間を生み出そうと事務時間の改善にも熱心に取り組んでくれている」とあいさつ。職員約580人でつくる共済会の会長を務める瀬谷権一郎さん＝写真右＝が小川敏市長に目録を手渡した。小川市長は「大垣市はもちろん西濃地域の発展のため、使わせてもらいたい」と感謝を込めた。  
(古家政徳)